

こうじ 工事の げんば 現場より

亭榭保存修理事業

今はこんな様子だよ。



9月1週目

今回の檜皮葺屋根作業の一つの見どころ、唐破風頭部の「ボウズ」の作業が行われました。今回携わっている職人のなかで実際に施工した経験のある者はおらず、また他の所での参考になりそうな事例も見つかっていません。参考になるのは古写真だけで、図面や仕様も無いため、職人のこれまでの経験と知恵から古写真の形に近づくように試行錯誤して作り上げていきます。

古写真（昭和初期？）

頭部の飾り葺き：ボウズ（坊主）

解体前（平成16年施工）

頭部の飾り葺き：イチニイサン（一二三）

今回施工後



▲^{ひわだ}檜皮の大きさと形を整え、^{ととの}整然とした曲線・曲面を作り出していきます。時折引いて離れて見て、全体のバランスを確認します。

材料はほとんどは事前に加工されて現場に納品されていますが、▶今回の特殊な形に関しては実際に形作ってから、必要な^{ひわだ}檜皮の形や枚数が判明してきました。葺き作業に並行して、現場で加工作業も行っています。